



## 令和7年度第5回学校運営協議会（CS会議）開催

令和8年2月12日(木)午後、学校運営協議会 兼 地域連携推進会議が上山中学校で開催されました。

### 1 開会のあいさつ 地域連携推進会議 原政之 鳥屋野公民館長

公民館は自治会やコミ協、利用者等との繋がりがあり、地域の課題等を知ることはできますが、学校の様子を知ることはなかなか難しいです。この会議では、生徒の様子を見ることもでき、良い機会を得ていると思っています。今後ともよろしくお願ひします。



### 2 校長あいさつ 桑原通泰 校長

今年度、地域との繋がりの中でいろいろな活動をして、生徒たちは大きく成長しました。引き続きご支援をいただきながら、生徒たちを支えていきたいと思ひます。来年度もよろしくお願ひします。

### 3 情報提供および意見交換

#### (1) 制服改定業者選定結果 齋藤大紀 教頭

業者によるプレゼンをCS委員より評価していただき、学校で精査した結果、決定業者は「株式会社明石スクールユニフォームカンパニー」様になりました。今後、上山中学校創立50周年の記念の年にあたる令和9年度に制服の選択肢が増えることを、在校生、その保護者に向けて説明する予定です。

#### (2) 地域と学校パートナーシップ事業の報告および次年度に向けて 小林洋子 地域教育コーディネーター 令和7年度活動報告、令和8年度活動計画が示されました。

#### (3) 今年度の学校評価 伊與部直哉 教務主任

生徒や保護者に対して行われた調査及びアンケート結果を分析し作成された「令和7年度上山中学校園教育ビジョン評価シート」の内容について説明があり、質疑応答がなされました。

#### 4 令和8年度学校運営の基本方針の提案 桑原通泰 校長

今年度、学校運営の基本方針を軸に教育活動を展開し、目標とした育成したい生徒の資質・能力を伸ばすことができていると感じています。来年度も今年度と大きく変更せず、学校運営を進めていきたいと考えています。

キーワードは「協調・利他」

「しあわせ」でありたい。それは上山中学校に関わるすべての人の不変的願いと考える。では「しあわせ」とはなにか？ それは身体的、精神的、社会的に良好な状態であり、持続的継続的な幸福感(well-being)。そうした幸福感を継続的に維持するには高い協調性と利他的な思考ができることが極めて重要であると考えます。

当会議で承認された令和8年度学校運営の基本方針については、新年度、教職員への周知はもとより、生徒、保護者、地域に対しても適時お伝えします。

#### 5 今年度の活動報告

##### (1) 校則見直し活動の報告 新生徒会役員

生徒会は、生徒から校則に関する要望が多数寄せられたこと、本部でも不要または変更すべきと考える項目があったことから、校則改革に踏み切りました。改革の中で大切にしたいことは「時代にあった学校にすること」「目指す学校像・生徒像の実現により近づくこと」の二点で、生徒がマナーやルールを守ることでできる過ごしやすい学校を目指して、生徒や先生方からも意見をいただき、改革を行いました。今年度内に結論が出ず、来年度も議論を重ねるため保留にした項目もあります。今後もより良い学校にしていけるよう取り組んでいきます。

##### (2) 学校予算プロジェクトの報告 予算プロジェクト実行委員

先日の予算プロジェクトの発表会において、CS委員の方々からいただいた意見をもとに、プレゼンを改善し、より良い状態で全校に対して発表することができました。購入候補3品目を提案し、投票してもらった結果、「多目的室1の椅子」を購入することになりました。

#### 6 閉会のあいさつ 山崎光子 学校運営協議会会長

今年一年、先生方は様々なことに積極的に取り組んでくださり、また生徒や事務の方からも学校を良くしようとしていることが強く伝わってきました。今年度は新しいプロジェクトがたくさんあり、生徒もいきいきと活動していました。

この地域は急激に住宅が増え、近隣住民同士の繋がりが薄いとの話が出ましたが、今年度開催された「かみスマ」のような企画から保護者、子ども同士が絡み合うように繋がっていくことができればより良い地域になるのではないかと思います。学校が人と人とを繋いでいく場になることを期待しています。今後も、この学校が生徒たち、先生方にとってより良い学校になることを心から願っておりますし、来年度、学校運営協議会も頑張っていきたいと思っております。